

【アカデミック・コンソーシアムについて】

都市はさまざまな面で持続可能な地球社会の鍵を握っています。いまや世界人口の半分が都市に住み、世界の75%のエネルギーを消費し、75%の温室効果ガスを排出するなど、地球環境問題の大きな原因になっています。また、農村部から都市部への人口のシフトにより、とりわけ途上国ではスラムの拡大など都市において貧困問題や公衆衛生問題が蔓延し、深刻化。その他にも、都市景観、アメニティ、都市の環境・公害問題、都市の健全な経営など、解決すべき課題が山積しています。

国際社会においても役割を担う「都市の時代」に、都市に所在地を持つ大学も新たな役割が求められています。それは、知的リソースを持つ大学が、行政や国際機関等と協働し、各都市が直面する課題を解決することであり、その過程で行政や市民と有機的な関係を構築して、地域や世界に貢献する大学に生まれ変わることで、そして問題意識を共有する大学等が連携し、各大学・各団体が持つリソースを補完・融合し合うことで、複合化した都市の諸課題の解決、持続可能な社会の創造に効果的に貢献することができると考えます。

横浜市立大学は、このような問題意識を持って、アカデミック・コンソーシアム（持続可能な都市社会のための大学コンソーシアム）を創設しました。

「持続可能な都市をめざして」～アカデミックコンソーシアムの役割～

アカデミックコンソーシアムは、国際機関からの支援を受けながら、アジアを中心とした都市の大学の教員・研究者・学生・職員及び関連する機関が相互に連携し、情報やリソースの共有、議論、調査、研究、プロジェクトを実施します。具体的な活動を「環境」「まちづくり」「公衆衛生」3つのテーマで展開。持続可能な社会をめざして、都市の諸問題を解決し、地域や世界に貢献することを目標としています。



2010年
アカデミックコンソーシアム
国際シンポジウム

タマサート大学・マレーシア科学大学・フィリピン大学・上海交通大学・ベトナム国家大学・シンガポール国立大学・ハサヌディン大学・ウィリンカービジネス大学院・大阪市立大学・名古屋市立大学・横浜国立大学・世界銀行・独立行政法人国際協力機構 (JICA)・財団法人地球環境戦略研究機関 (IGES)・アジア太平洋都市間協力ネットワーク (CITYNET)・横浜市